

スクリーニング法の開発

案1 入院時病棟看護師がチェック

- ① 食事時のムセの有無
- ② 構音（パ、タ、カ）のチェック（言えない）
- ③ 肺炎既往の有無（2回以上の既往あり）
- ④ 反復唾液飲みテスト（RSST、一口の水を飲んだあと、30秒間に何回唾液を飲めるか、2回以下）



案2 入院時に質問紙に記載してもらう

1. 肺炎と診断されたことがありますか？
2. やせてきましたか？
3. 物が飲み込みにくいと感じることがありますか？
4. 食事中にむせることがありますか？
5. お茶を飲むときにむせることがありますか？
6. 食事中や食後、それ以外の時にものどがゴロゴロすることがありますか？
7. のどに食べ物が残る感じがすることがありますか？
8. 食べるのが遅くなりましたか？
9. 硬いものが食べにくくなりましたか？
10. 口から食べ物がこぼれることがありますか？
11. 口の中に食べ物が残ることがありますか？
12. 食物や酸っぱい液が胃からのどに戻ってくることがありますか？
13. 胸に食べ物が残ったり、つまった感じがすることがありますか？
14. 夜、咳で寝られなかったり目覚めることがありますか？
15. 声がかすれてきましたか（がらがら声、かすれ声など）？

A: 重い症状、B: 軽い症状、C: 症状なし
(ひとつでも)